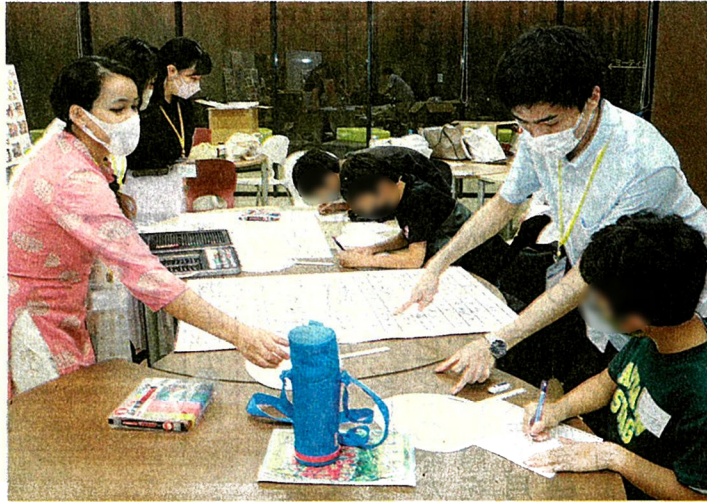


ネパール出身のカドカさん^①に教わりながら、デーバナーガリー文字でうちわに自分の名前を書く児童ら＝東海市芸術劇場で



私の母国 こんな国です

東海市 日福大留学生、児童に紹介

日本福祉大東海キャンパス(東海市大田町)の国際福祉開発学部の学生による夏休み交流イベントが一日、東海市の芸術劇場であり、留学生らが、児童に母国の言語や文化を紹介した。

学生の力で、地域課題の解決や活性化を図る、市の大学連携まちづくり推進事業の一環。夏休み中の小学生を対象に、宿題を手伝うとともに、留学生が異文化

を教えた。

ネパール出身の留学生カドカ・ラビナさん(三)はパネルで、母国の面積や人口、料理などを紹介。世界で唯一、長方形でなく、三角形を二つ並べた形の国旗

は「ネパールが山が多いためです」と説明した。ネパールで使うデーバナーガリー文字を使って、うちわに自分の名前を書く時間もあり、児童たちは慣れない文字に悪戦苦闘しながらも、ゆっくりと完成させていた。緑陽小三年の

は「知らない言語に触れられて楽しかった」と話していた。

ベトナム文化の紹介もあったほか、ウクレレや習字体験もあった。五日にも開かれる。(高橋貴仁)